

自動運転バスの 2019年度サービス実証に向けて

SB Drive

代表取締役社長 兼 CEO

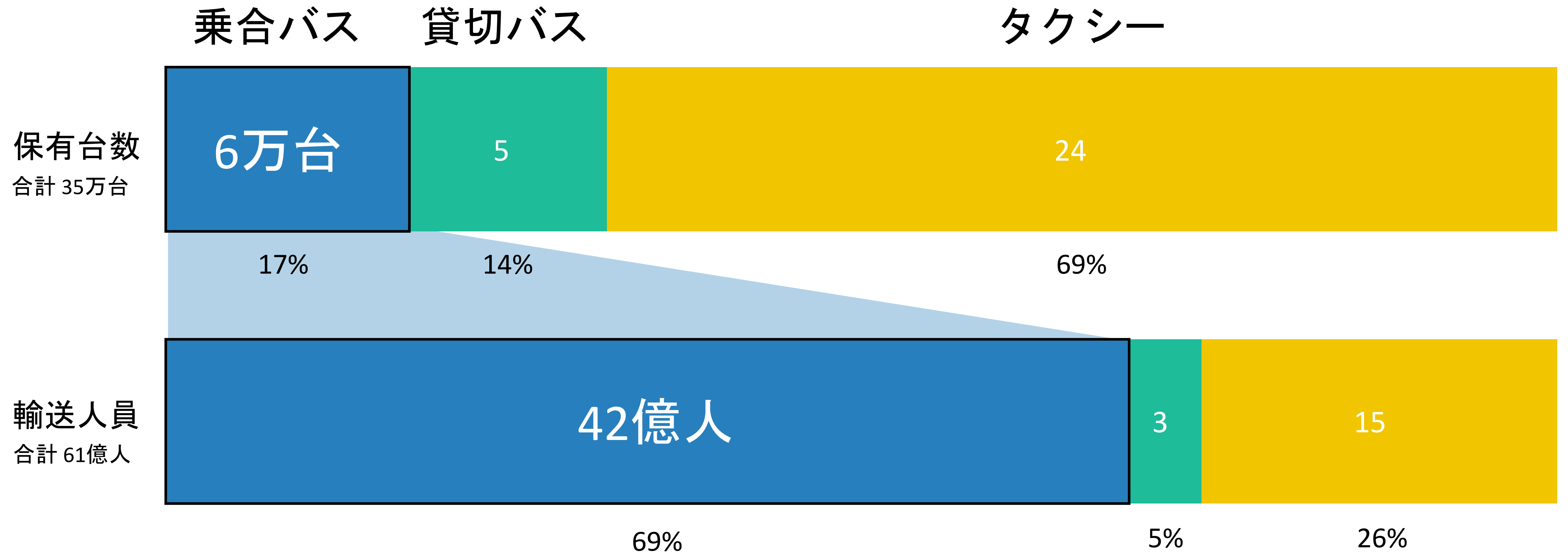
佐治 友基

82%

地域バス会社165社中136社が赤字

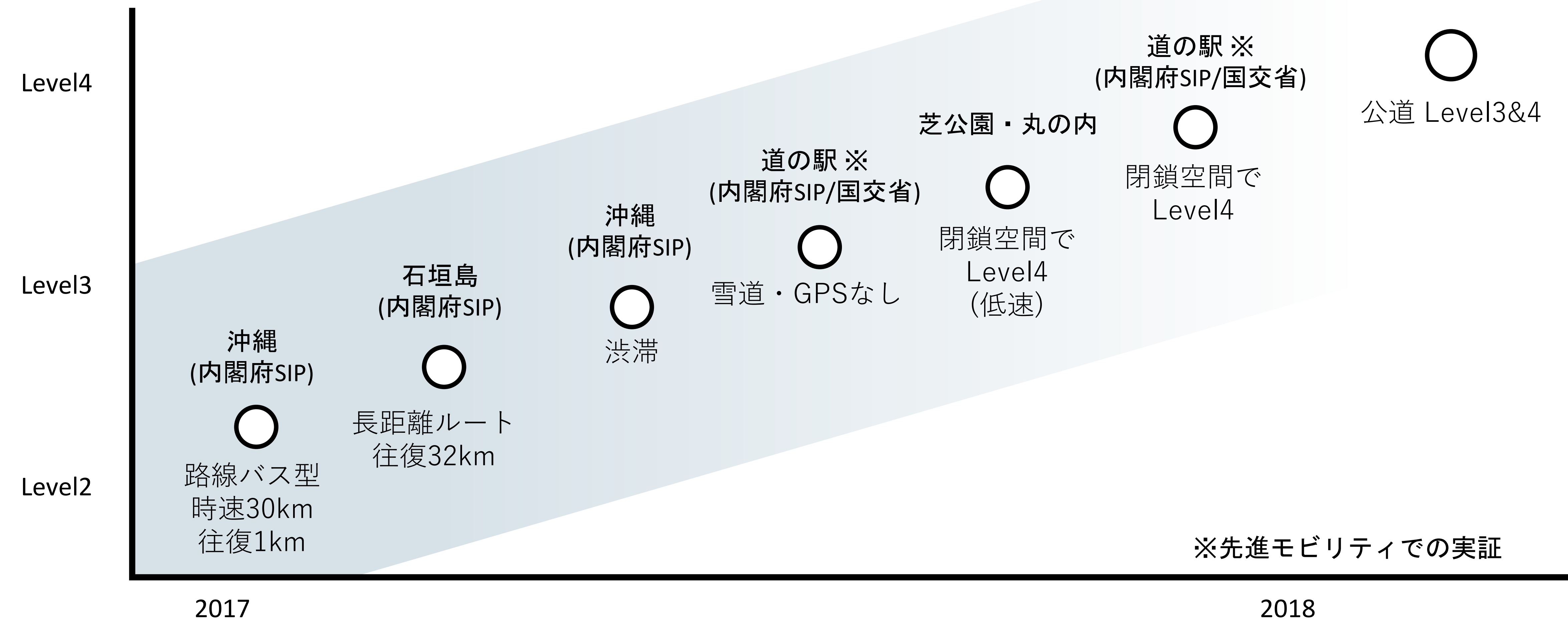
乗合バスは国民の生活必需品

ラストワンマイルの移動手段



内閣府等のプロジェクトに参加し 実証実験を段階的にレベルアップ

自動化レベル



※先進モビリティでの実証



文具
BUNGU



オフィス環境を創造する

オフィス
家具

SHOW ROOM

印紙 切手 はがき
ゆうパック
取り扱い販売所

DAIHATSU

DAIHATSU

Gulliver

SHARP

KANSAI PAINT



文具の日

印刷

500m
1000m



郵便局

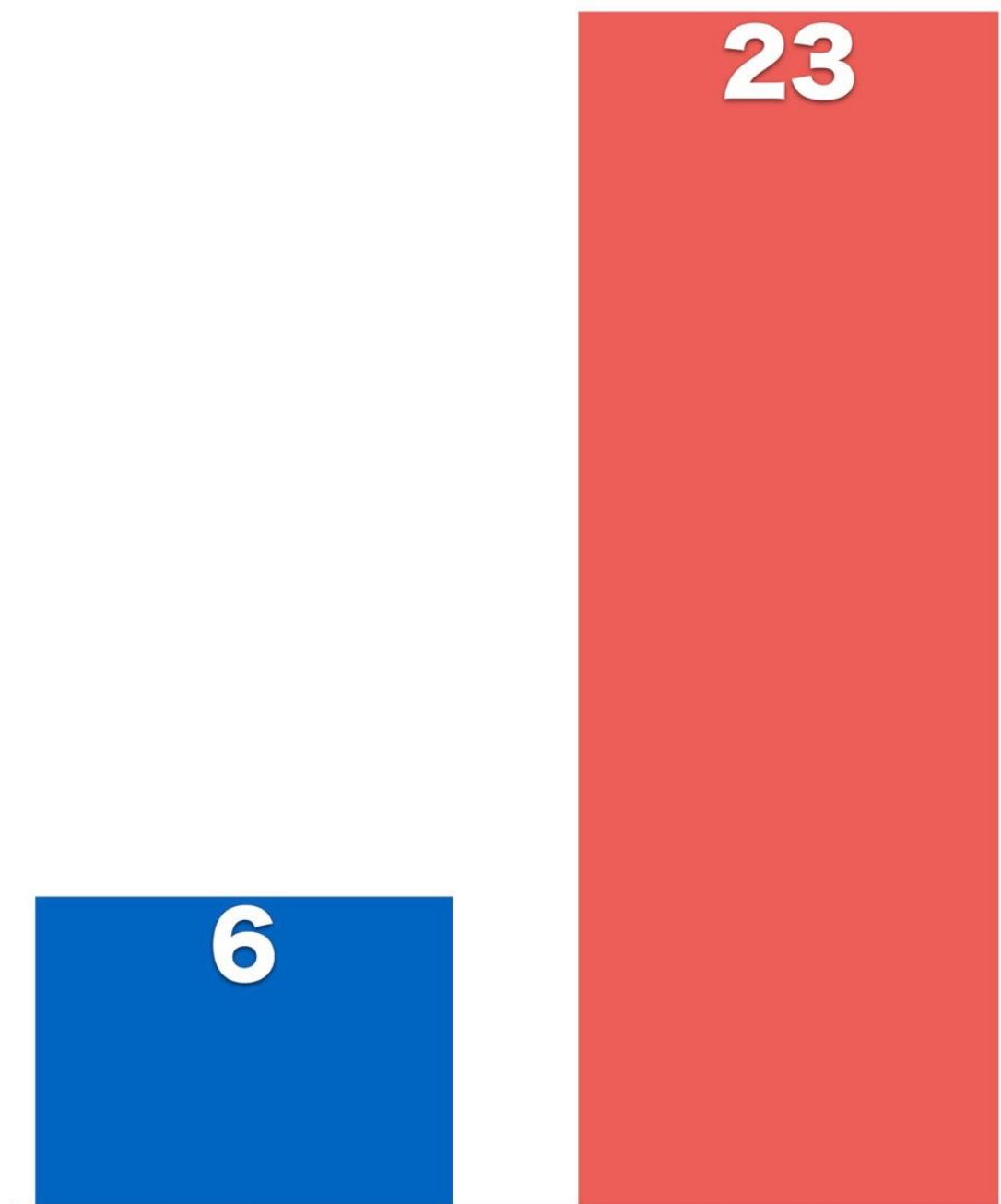
KA



乗り心地評価
プロのドライバー
約30人に聞きました

BEFORE

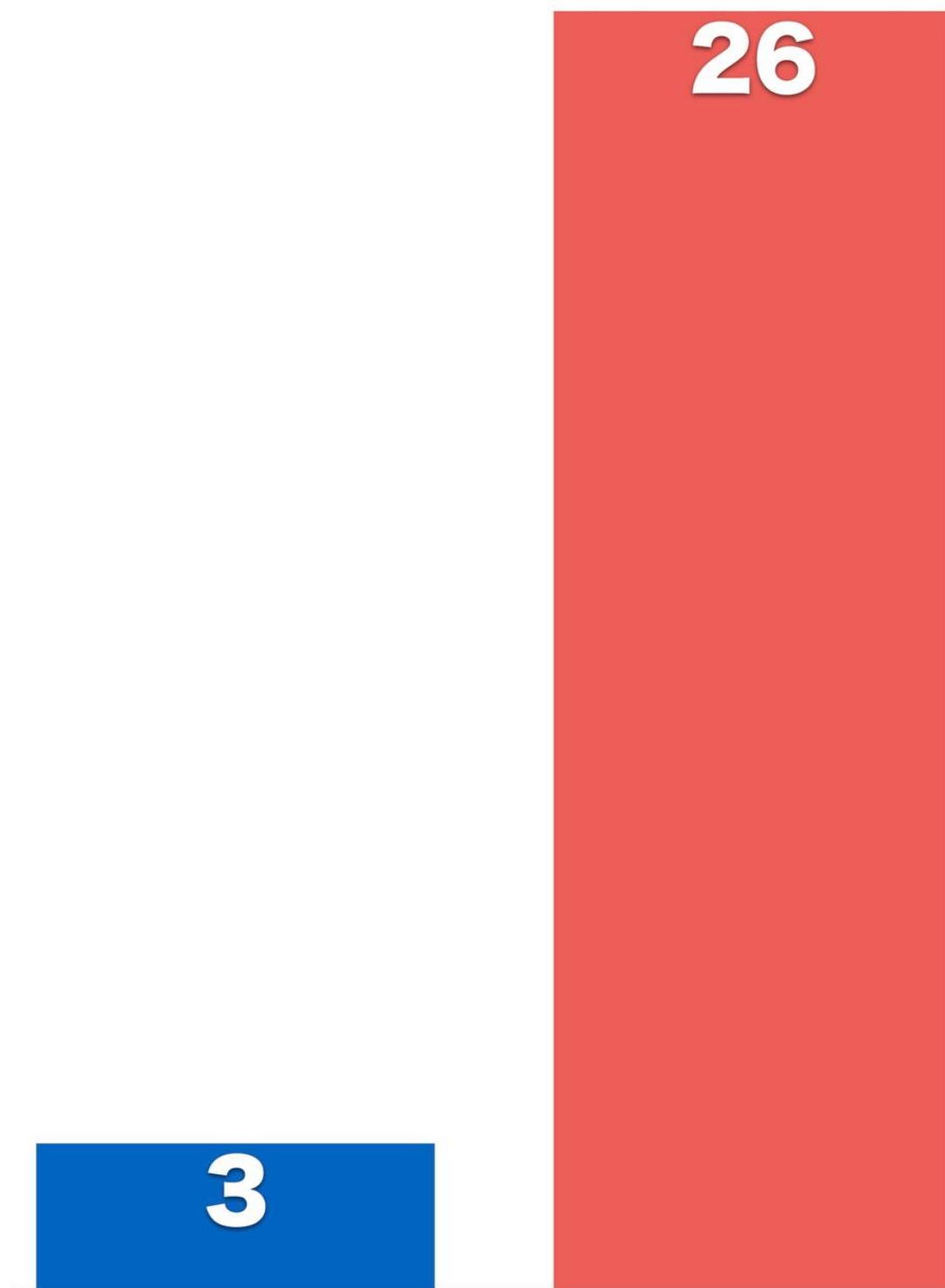
車線維持



安心

不安

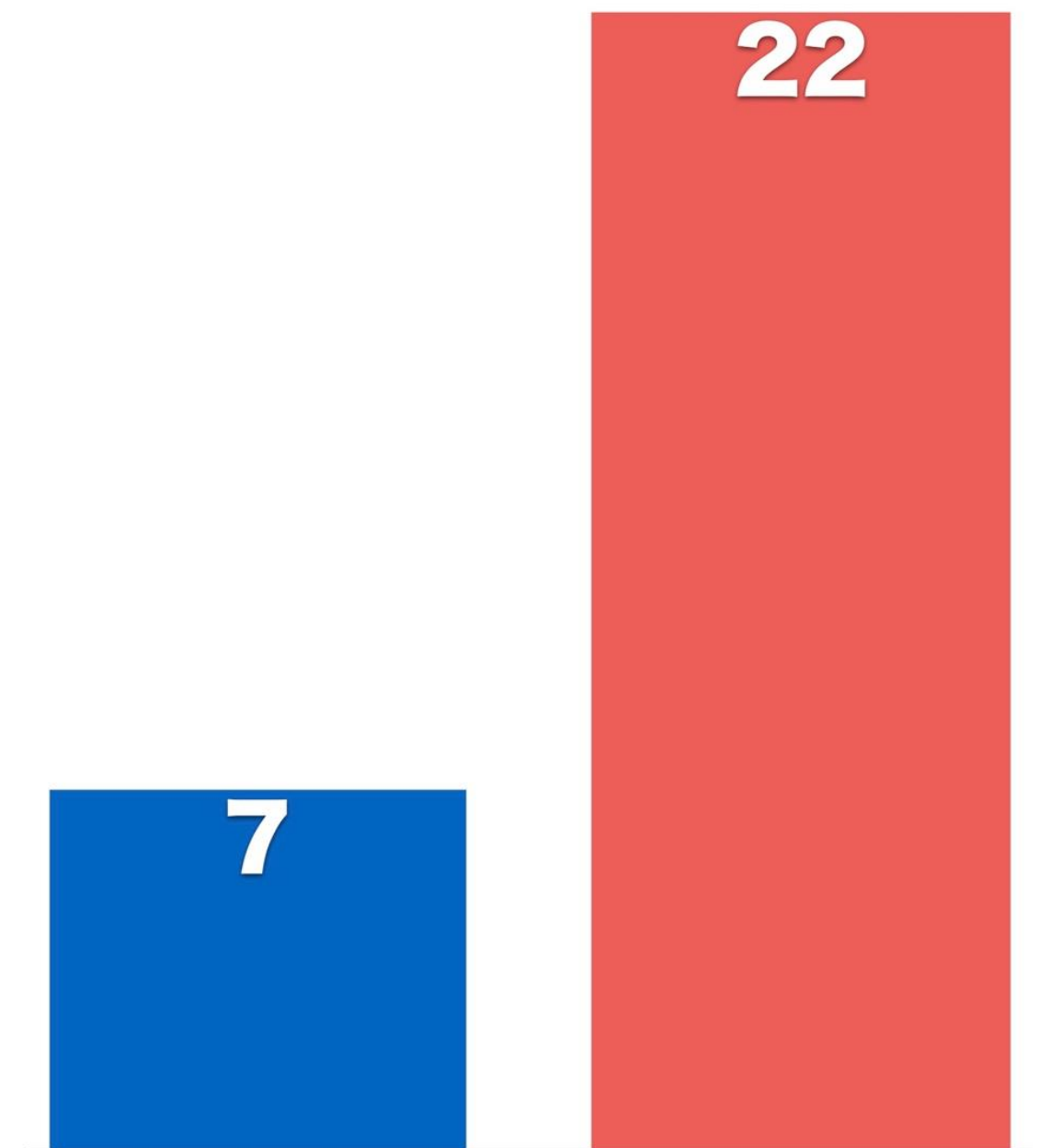
障害物回避



安心

不安

正着制御



安心

不安

AFTER

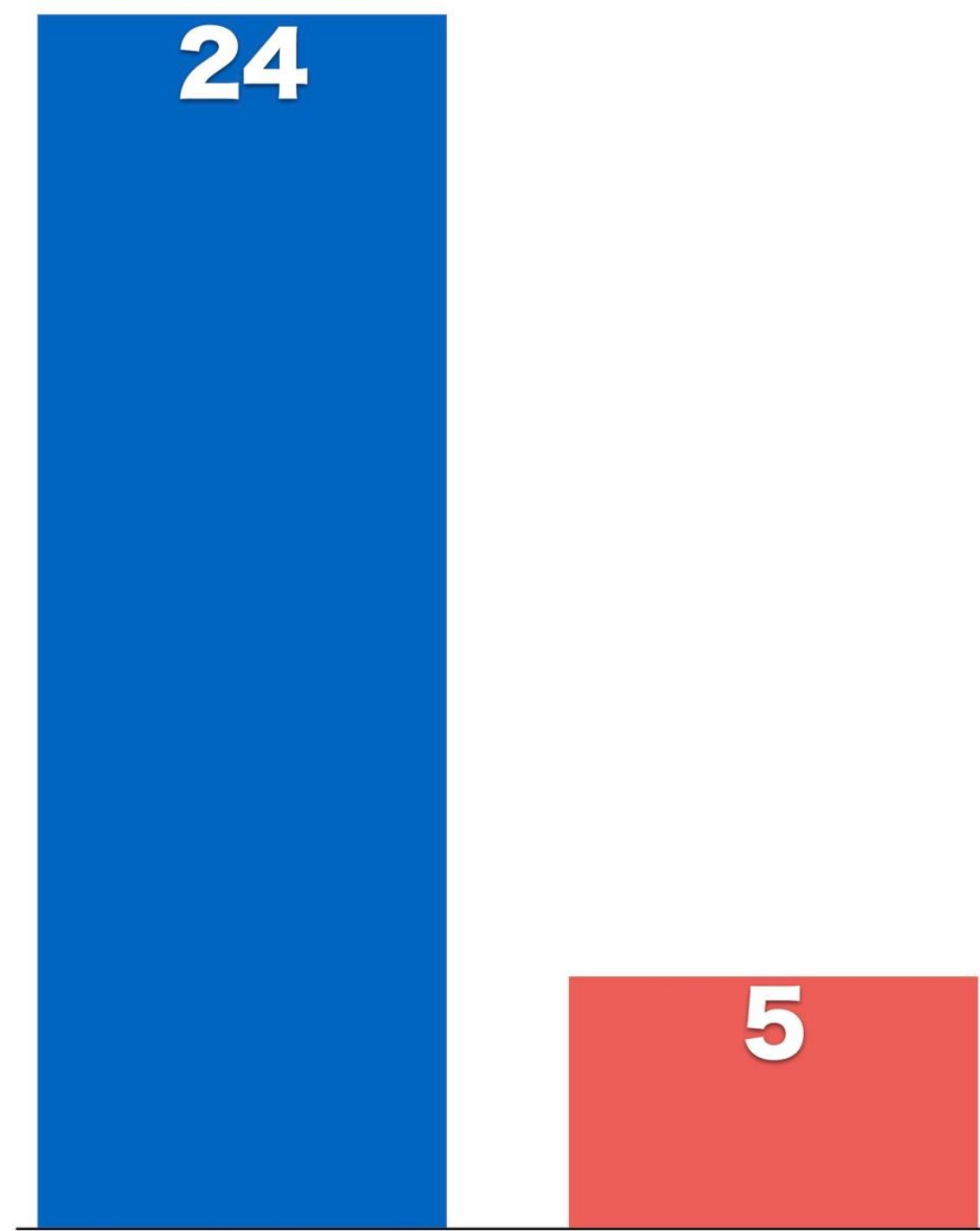
車線維持



安心

不安

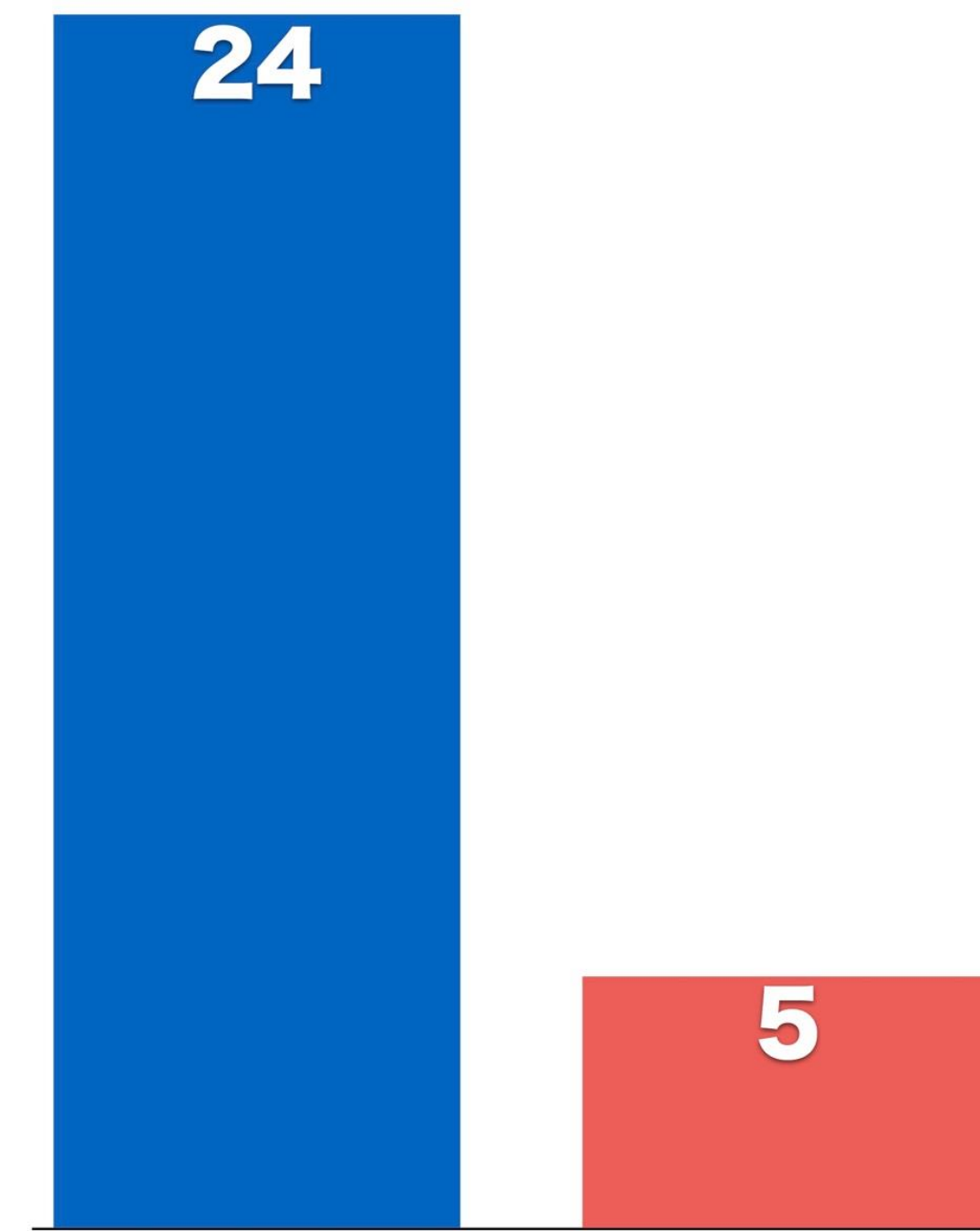
障害物回避



安心

不安

正着制御



安心

不安

2018年度 茨城県 日立市で実証

(スマートモビリティシステム研究開発・実証事業)



日本は実証実験がやりやすい環境

(レベル4相当実験も可能)



国交省

車両保安基準

2017年2月9日

警察庁

道路使用許可

2017年6月1日

複数の大手民間バス会社
本格的なサービス実証の必要性を認識



自動運転実用化に必要な2つの安全

A. 走行安全



交通事故の防止
車両状態監視
インフラ協調など

&

B. 乗客安全



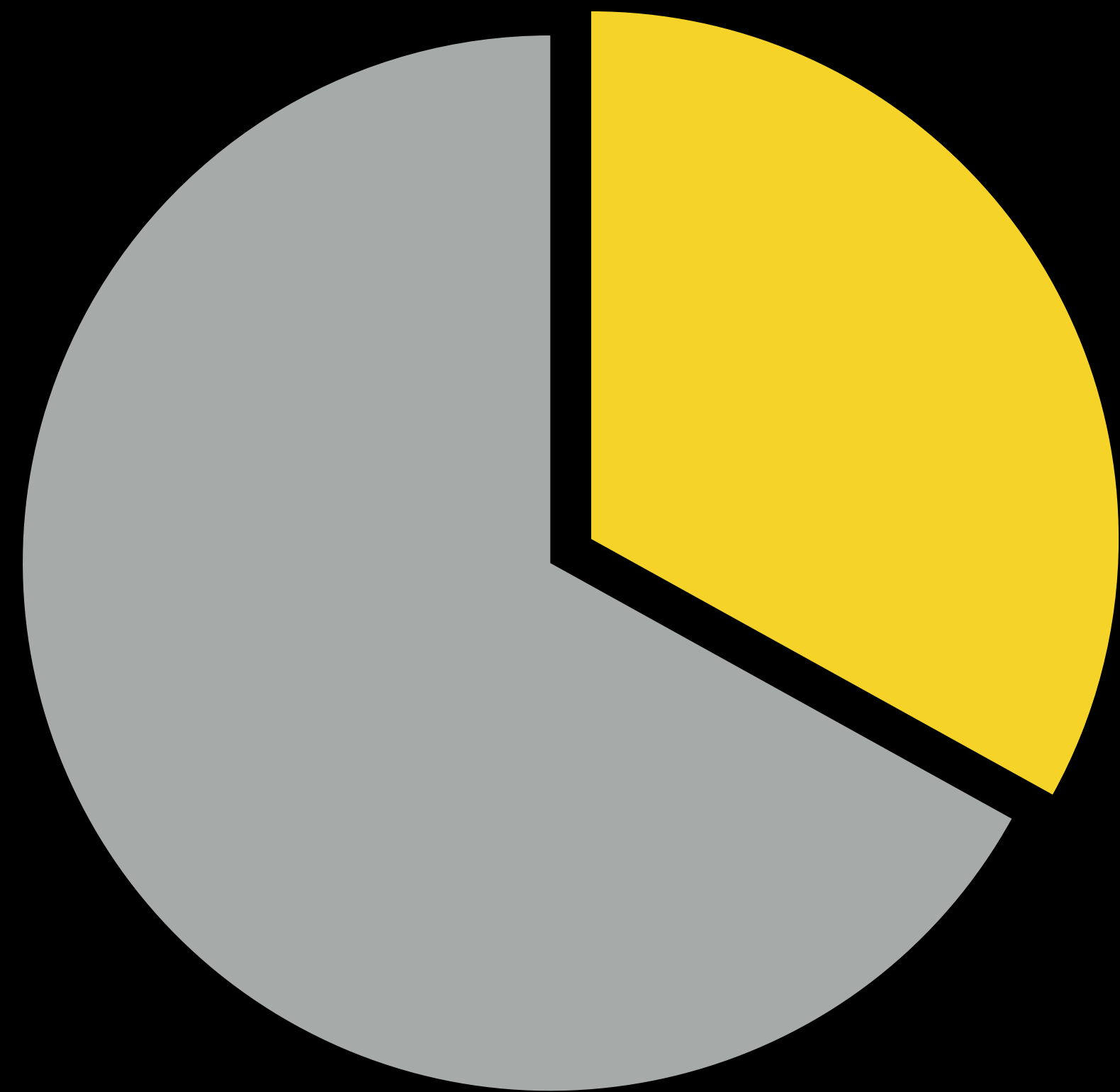
車内事故の防止
乗客案内
トラブル対応など



安全へのこだわり

SBドライブ技術者自ら
大型二種免許取得

自動運転バスの車内を安全に!

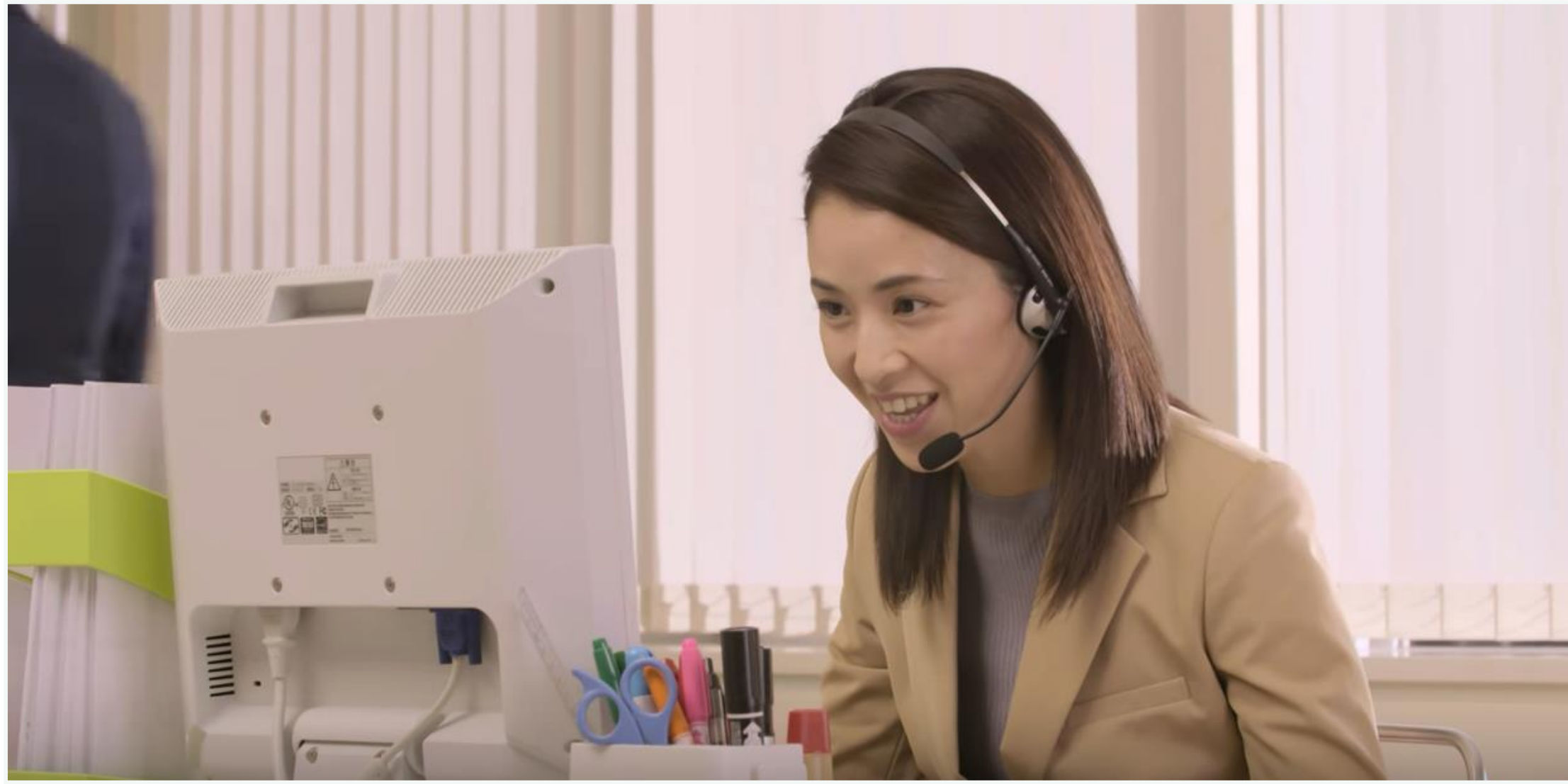


33%

車内での転倒や怪我

2,000件中 661件

地域におけるサービス実証モデル



地域のバス事業者

乗客安全を遠隔で見守る

困っていないか？



危なくないか？



異常はないか？



運行系統ルート&現在地

羽田実証実験：循環1
(35.539291N)(139.794585E)

ANA177レ-4MB前
10:00 10:01(+1)

ANA177レ-5MB前
10:20 10:21(+1)

ANA177レ-6MB前
10:30 10:31(+1)

車両情報 **正常**

自動

-%
 -%
開



運転状況 **正常**

約 0分

-人 / 21人
 -円
 -℃

車内通話

車外通話

停車



カメラ一覧表示

現状枠組みで実証実験は可能

➔ 商用化に向けたサービス実証へ

～ 2018年度

2019年度～

走行機能安全の実証

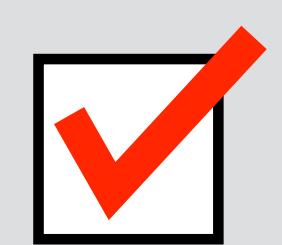
サービス実証

車両保安基準



基準緩和認定要項

道路交通法



遠隔型の基準



信号接続要領

商用化可能な制度設計

旅客事業としての

- ・ サービス業務構築
- ・ ビジネスモデル検証 など

ジャパンモデルを世界へ

UPDATE MOBILITY

== SB Drive